



学校だより 「城島」

令和5年2月16日 NO.13
久留米市立城島小学校
校長 原田敏男

子どもたちの姿

早いもので3学期も折り返しの時期となりました。本校では新型コロナウイルスの感染状況もインフルエンザ感染も落ちついている状況です。国の通知では、卒業式や今後の教育活動に向け、どの場面でマスクを外すのかなど通知が出されています。新型コロナウイルスは感染が広まった時も大変でしたが、おさまりつつある段階でも様々な配慮が必要だと感じているところです。

さて、今回の通信では子どもたちの心が気になっているという記事になります。2月15日の昼休みに2階の男子トイレの壁に穴があげられました。子どもの身長から考えるとかなりの力で殴ったものと考えられます。

壁に穴を開けた子どもやその理由は分かりません。見た子どもがおらず、情報がありません。イライラしていたからか、面白半分か、もしくは何らかの理由で物を壊さなければならなかったのか、非常に心配になります。ぜひ、ご家庭でもお子さんの様子を把握したり、会話をしたりしてください。

穴を発見して、すぐに担任を集め次の4点を話すように伝えました。

- 1 トイレに穴が開けられたことを子どもたちに知らせること
 - 2 面白半分というのは当然いけないことだが、イライラがあっても、その表現や行動は間違っていること
 - 3 悩みやイライラがあるときは家族や担任、それ以外の先生などだれかに話をすること
 - 4 こういう行動は誰かにきつと見られていること
- 各学級4点の指導後、当該のトイレへ連れていき、現状を見せるようにしました。大変、難しい問題ですが、繰り返し起こらないよう、引き続き、子どもたちの様子をしっかりと見ていきます。

